

音楽再生にこだわった
ラッシュRCFが新登場！

60年の歴史を持つ世界有数の通信機器メーカーがミッドランド。その特徴は先進性。世界で初めて自社製品だけでなく他社製品との通話できる機能を搭載するなど、常に新しいインターコムのあり方を模索している。

今回紹介するメッシュ通信もその一つ。通常、ブルートゥースインターコムを使用して会話するには、機器同士のペアリング作業が不可欠。近年はスマートフォンアプリでペアリングが行えたりするが、それでもツーリングのスタート前や、仲間の合流・ごとのいちいちペアリングをしないおすのはとても面倒なことだ。ところがミッドランドのインターコムが採用するメッシュ通信なら、この煩わしいペアリングが不要なのだ。

また今回紹介する、フラッグシップモデルのメッシュRCFでは、音響機器メーカーとの共同開発により音楽性能が大幅アップ。インターコムという点、まだまだ「鳴っている」「レベルのスピーカーが多いが、メッシュRCFは唯一、空間オーディオに対応しており音響面においても、ミッドランドのインターコムが新たな世界を広げた印象である。



音楽好きが選ぶ高音質

MIDLAND RUSH RCF!

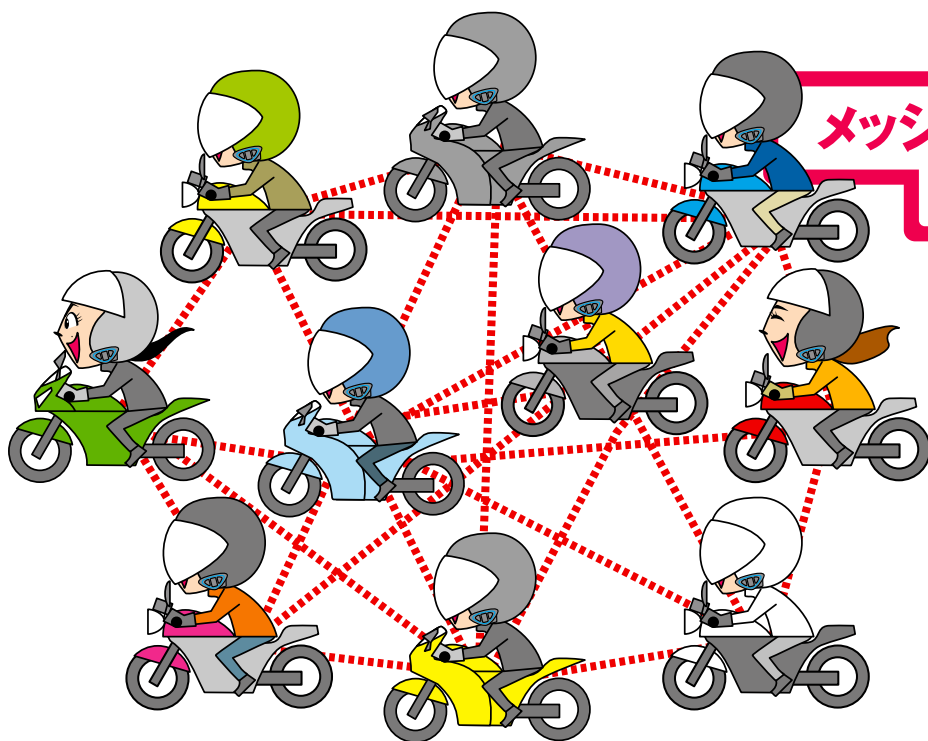
2022年10月28日に発売になったばかりのミッドランドのBluetoothインカム「RUSH RCF」持ち前のメッシュ通信機能に加え、空間オーディオ対応機能などの新機能が搭載されたようだが、この「RUSH RCF」を4回にわたって徹底的紹介していこう！

写真／増川浩一 文／谷田貝洋樹
問：LINKS TEL075-708-2362 <https://www.midlandradio.jp/>

[Specifications]

**RUSH RCF
シングルパック**
価格：3万4000円

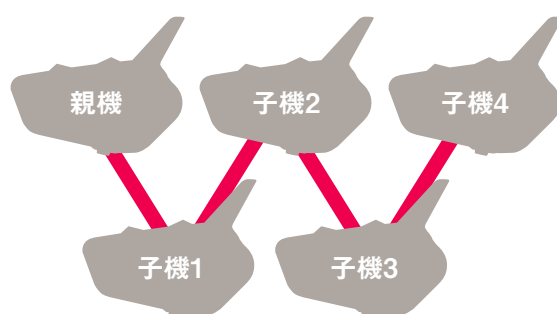
**RUSH RCF
ツインパック**
価格：6万6300円



メッシュがインカムの未来を変えていく!

3人以上で使うなら断然メッシュ

通 常のBluetoothインカムはインターコム同士を1本の線で繋いで行くようなイメージなのに対し、ミッドランド独自のメッシュ通信は、近くのインターカムと網目のようなネットワークを構築することがその特徴。Bluetoothインターコムだと、走行する順番によって声が聞き取りにくくなったり、途切れたりすることがあるが、メッシュ通信ならそんな不具合は皆無

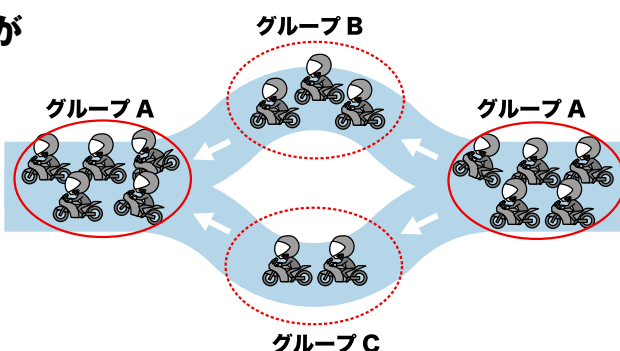


一般的なBluetoothは

一般的なBluetoothインターコムはこんな感じで1本の線で通信を繋いでいく。このため親機や途中のインターコムが抜けたりすると改めてペアリングし直す必要がある。また親機が中間に入るなど、走行順を変えると通話しにくくなったりすることもある

合流&分離がスムーズ

グループAがグループBとCに分かれて、再度合流したときにも、ペアリングし直す必要なく接続し、会話が続けられる。信号待ち、トイレ休憩、給油など、メンバーの離脱と合流の機会は意外と多い



MIDLANDだけの空間オーディオ

ラッシュRCFは空間オーディオ対応。一般的なステレオ音源の音もいいが、専用の音源なら今までにない立体的な没入感が楽しめる

RCFエディションってなに!?

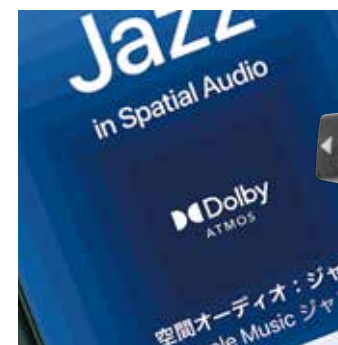
RCFとはイタリアの音響機器専門メーカーで、コンサート会場やスタジアムなどの音響を担当し、その実績は世界73カ国、1000以上の施設に及び、身近なところでは横浜スタジアムもその一例だとか。そんな音響のスペシャリストが、ヘルメット内音響空間の開発に全面的に参画。2年の歳月をかけて、バイクの高速移動にも負けない、パワフルでクリアな極上のオーディオ空間を作り上げた



空間オーディオ

Dolby Atmos とは

iPhoneユーザーにはお馴染みのApple Musicが音楽アプリとしてはいち早く導入した機能で、米ドルビーラボラトリーズが開発した「Dolby ATMOS」という立体音響方式の一種だ。3次元的な音の方向や距離、拡がりなどを再生する方式のことで3Dオーディオなどとも呼ばれる。前後左右上下と多角的に音を再現するため、音の奥行きが広がり、抜群の臨場感を再現している



臨場感あふれる音質

RCFエディションのために、スピーカーはもとより音楽再生のソフトも開発。空間オーディオにも対応可能な、広がりのある音響空間を手に入れた

通信開始はボタンを押すだけ



RUSH RCFはペアリング不要

事前にインターコムのチャンネルを#1～10に振り分けておくことで、現場ではいきなり会話をスタートさせられる。集合時したときにいちいちペアリング作業する必要がなく、ボタンを押すだけ